

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	*	*	*
(東海)	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が落ち着く方向にあると感じられ、客もそう言っている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・3月に入ってから若干ではあるが売上も上がり、物が動くようになってきている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・客単価は低いが週末の人出が増えたので、多少売上が上向いてきた。
	○	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・いろいろな規制も解除され、新型コロナウイルスのワクチンも全員に接種される見通しが立ち、これから明るい未来が見えてきそうである。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、ブライダル、年度末の花束の注文等はとても少なく心配したが、今年はブライダルもぼちぼち動き出し、年度末の花の注文はかなり多い。落ちていた売上も元に戻りつつある。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルス禍への突入が勢いを増していた。今年は第3波が収まらない内の緊急事態宣言解除であり、すぐ第4波への様相を呈している。本来模範を示すべき官僚が禁を犯す状況で一般国民もあ然という状態である。観光客もマイカー中心の復旧であり鉄道・観光バス利用の回復はめどが立たない。前年比はややプラス、前々年比はまだ半分少々の状況である。
	○	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日は若年層の来客が多く、スニーカーなどのカジュアルシューズが売れている。遠出ができないため、近場で友人同士のランチのついでに買物に来ている様子である。土日はフレッシュャーズ用のスーツや靴のまとめ買いをする家族客が少し増えてきて、売上が上がっている。
	○	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除を機に、レジャー及びビジネス共に客足が少しずつ戻りつつある。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月に入り来客数は前年比100%前後で推移している。前年は新型コロナウイルス禍で減った水準であり、元に戻っている状態ではない。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・弔事、慶事等の返礼品が増えている。
	○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除により、人出が増えた。
	○	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・少し前の底の状態に比べると徐々に人出が増えて、入店が増えてきている。富裕者層は旅行などへの支出が難しい状況のなか、物への支出が相変わらず維持されている。
	○	百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ新型コロナウイルスの影響が緩和され、来客数や売上が伸びている。
	○	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除やテナントビルのイベントもあり、来客数が増加した。購入意欲の高まりを感じられ、自家需要が目立っており高額品も稼働している。徐々に売上は戻り始めている。
	○	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・2月と比較すると大多数の店舗が改善傾向にあるが、2月は祝日が2日あったため、駅ナカ店舗では単純な比較ができない。しかし、祝日を加味しても回復の兆しは見える。
○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・まだまだ前年比マイナス3%くらいだが、良くはなっている。	
○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後来客数が増え、販売量が増加している。特に朝の通勤客を中心ににおにぎり、パンや飲料などの日常商品の販売量がアップしている。	
○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて営業活動が再開されたためか、サラリーマンの来客数が増えている。	

○	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・3月の売上前年比は101.2%という状況である。ただし、緊急事態宣言中の前年と比べ売上が同水準のため、判断が難しい。3か月前からは経営数値上の改善がみられるが、予断を許さない状況である。事実、新型コロナウイルス感染者数が直近では増えてきていることが懸念材料としてある。
○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・自粛ムードではあるが、大半の常連客が来店して少ない商品の中で買物をしてきて大変有り難い。売上の分母を大きくする商売をしてこなかったため、新型コロナウイルス禍でも何とか耐えている。
○	乗用車販売店（経営者）	それ以外	・客が外に出られるようになり、少なくなっていた事故件数が通常程度に多くなってきて、事故修理の仕事が増えた。
○	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客が新型コロナウイルスに慣れたのか、新型コロナウイルスの感染が落ち着いたのか不明だが、以前の正常な状態の雰囲気にならず戻りつつあると感じる。
○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・受注台数は増えたが、前年比でみると1割くらい減っている。
○	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・前年末の頃と比べると、新型コロナウイルスに関しての心配事は希薄になってきており、余り気にしない人が増えてきている。
○	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・2月後半より、自粛疲れからか来客数が少しずつ増加傾向にあり、さらに各地で緊急事態宣言が解除されたことにより、昼夜共に来客数が増加している。客単価も上昇傾向である。
○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるなど、徐々に不安感は払拭されつつある雰囲気である。しかし、今後何かが起きるかもしれない不安感も同時にある。
○	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・1～2か月前よりも大底を打った感があるが非常に弱いものであり、若干良くなっている程度で、まだまだ収支的には事業を継続できるレベルにはないというのが現状である。若干来客数の動きは良くなった。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて、少しずつ良くなってきている。
○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・年度末で、駆け込みの光回線や電話回線の新規申込みが増加した。
○	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・週末の天候が良く気温も暖かいため、入園者数は増えている。
○	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・マスク生活による口周りの吹き出物や乾燥の手入れのために来店する客が少し増えた。
○	美容室（経営者）	お客様の様子	・少しずつイベントが再開され、卒業式、入学式、外出などの話が客との会話に出始めた。
○	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・緊急事態宣言下において、利用者を紹介してくれるケアマネージャーがテレワーク勤務をすることがあり紹介件数が低迷していたが、解除とともに改善傾向にある。
○	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・以前と比較すれば小さな案件だが少しずつ出てきている。
○	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・契約者数は新型コロナウイルス発生以前と同じくらいまでには回復した。集合住宅より戸建て住宅の楽しさや安全性を求める客が多くなったと推測する。
○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍を考慮して目標数値を考えていたが、大幅に来客数が多かった。
□	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数そのものが増えてきていないため、どうしても販売量や売上高につながらない。
□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まるまではどうしようもない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・3月は年度末で経済活動は活性化するが、企業・個人の動向は贈答品業界では変わらない状況が続いている。経費はなるべく少なくするとか、個人は付き合いの幅を広げないなど、新型コロナウイルス禍で自粛ムードが進み、結婚式及び葬式、友人との付き合いは、全て対面で会う人数を減らしている。したがって、3か月前と比べると特に変わらない、どちらかといえば閉塞感のある静かな3月である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も少なく、新年度用の受注量が例年どおり見込まれる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・来客数は戻ってきたが、購入には至らない客が多い。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数の減少や県独自の緊急事態宣言の解除に伴い、来客数や売上も増加傾向にあったが、県内における新型コロナウイルス変異種の感染者数の増加傾向により、来客数や売上はやや右肩下がりになり、引き続き厳しい状況が想定される。また、桜の花見需要もほとんど消失している状況にある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・3月の日曜日は天候が悪い日が多く来客数は悪かったが、新型コロナウイルスの影響がまだ収まっていないことで、まだ平日の来客数、買上点数や1品単価は増えた状況であり、売上は依然好調である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で減った来客数は戻ってこない。客単価も少し落ちてきている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	販売量の動き	・最低限の販売数量が続いている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・春休みに入り子供がいる家庭での食事などの影響で、売上は多少良くなってはいるが、野菜の価格が安値で安定しているので、売上はさほど伸びていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（ブロック長）	販売量の動き	・時短営業、外出自粛要請の延長によって、内食需要は一定のレベルで継続しているが、前年のような急激に伸長する食品のカテゴリーはなく、ティッシュペーパーとトイレットペーパーの異常販売があった前年比にも苦しむ状況となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は続いている。売上の前年比は100%を達成していない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・年末年始に買物をしすぎたのか、買い置きがあるのか、来客数が大分減った。
<input type="checkbox"/>	スーパー（支店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言も解除されつつあるなかでも、新型コロナウイルス禍であることには変わりはなく、業種によってはにぎわいを取り戻しつつあるところもあるが、当社に関しては、客足も遠のいたままでもまだまだ芳しくない状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかでも、前月と比較して来客数は前年比で4%改善している。感染は拡大しているが、新型コロナウイルス慣れのためか来店客はあり、米飯やファーストフードなど主力商品群が5～6%改善している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	来客数の動き	・来客数が減り、廃棄する物がやや多かった。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除や気温上昇により、ここに来て来客数が伸長しているが、発出前の12月の動向と比較してほぼ同等の傾向である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・前年春の緊急事態宣言時とは異なり、年明けの緊急事態宣言発出以降も、法人・個人客共に大きな買い控え等は見られない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	来客数の動き	・来客数は、新型コロナウイルスの影響で激減したままである。売上も立たない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・引っ越しする単身者のまとめ買いは少なかったものの、パソコンは高性能タイプがよく売れた。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・3月は決算期になるので、値引きを期待する客や新たに車を購入する客の来店でにぎわうものだが、密になるのを嫌うのか、来客数は振るわなかった。最近では、ネットで試乗や商談を予約してから、時間を決めて来店する客が増えてきたのも一因になっているようだ。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車の販売台数は、前年は新型コロナウイルスの影響を受けていたため、前年よりは増えている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除となり、人の動きは若干出てきたように感じる。しかし、客との会話においてまだ雑談を交わすところまで気分は明るくなっていない。市場は盛り上がり欠け、年度末決算期であったが客の財布のひもは固いままのように感じられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出から解除まで、販売量に関してはここ2～3か月変わらない。新型コロナウイルスの影響により商品の供給が戻らないため、広告も打てない状況が続いている。本来繁忙期であるこの時期において、現状は厳しい。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス終息の見通しが付かないため、新築住宅、飲食関係の店舗改装などの見直しや延期が続いている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [貴金属] (経営者)	来客数の動き	・商店街の通行人数は増えているが、購買意欲はまだまだ元に戻っておらず、来客数、購買単価は低いままである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・少し新型コロナウイルスに客が慣れてしまったような気がする。男性の客が飲み屋へ飲みに行かない分が当店に回っているような感じがする。明らかに男性の1人客が増えている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策での時短営業ということもあり、来客数は少なかった。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・団体での食事はまだまだ控えているので、売上につながらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・前年の3月は既に新型コロナウイルスの影響を受け大きく減収となった。前年比でいえばどの部門も100%超ではあるが、全社で120%では何の意味もなさない。年度初めより何度も予算を見直してきたが、結局今月も削減した予算の40%とまだまだ回復の兆しは見えてこない。今月の下げ幅も3か月前とは変わっておらず、悪いままといえる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後に個人需要は飲食施設を中心に伸びてきている。法人宴会の利用は、良いときの1/4程度で推移しており、まだ当分は難しい状況が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・自動車関連業界は良いが、それ以外の飲食、宿泊等の関連業界や旅行業、外国人留学生、インバウンドなど人の移動と密接なところは経営に行き詰まり始めており、ターミナル駅前、都心部の繁華街や地下街も、飲食店、アパレル店舗の撤退が目立ってきている。有名な大型ビルのオフィスでも年度末に向けて撤退、縮小が目立っており、賃料の低下も起きている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (営業担当)	お客様の様子	・旅行業は完全に新型コロナウイルスに振り回されており、感染者数が減少に向かうと少しずつ旅行申込みが発生するが、感染が拡大し始めるとパタリと申込みが止まる上に申込済みの旅行まで取消しになる。一番つらいのが、収益の要となる観光性の団体旅行が全く発生しないことである。まだ最低半年は、この状態が続くと見込む。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (営業担当)	お客様の様子	・観光地では人出が増えているという報道があるが、旅行会社の利用にはつながっていない。Go Toキャンペーンのインパクトが強すぎて、Go Toキャンペーン停止期間の割引のない商品には魅力を感じてもらえない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・やはり自粛という言葉が効いているのか、繁華街の人出が少ない。飲食店街からは暇だという声しか聞かない。

□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・訪問営業をしているが、通常どおりに勤務をしており、例年の年度末と変わらず仕事が入ってきている。以前と比べ有線インターネットの需要はあるようになった。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・国内の一般客の動きは良くなっているが、国内団体客やインバウンドがない分を埋めるまでは至っていない。
□	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向にあり、引き続き自粛ムードが続く。3月後半は暖かい日が続き、人の動きが感じられる。
□	観光名所（案内係）	お客様の様子	・繁華街の人通りが少し良くなってきたような感じを受ける。
□	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・この3月は、暖かい日が多かったが週末には雨の日が多く、入場者は伸び悩んだ。それでも予算及び前年並みの入場者数をほぼ確保しており、景気は変わらないとみている。
□	美容室（経営者）	それ以外	・前年からの新型コロナウイルスの影響を受けて、当店の客層は高齢化しているため外出を恐れて出足が悪い。
□	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との話に景気の良くなる話はなかった。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・相変わらず横ばい状態である。大きな変化はない。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・3月に入り時短営業が少し緩和されたが、飲食店への来店は引き続き低調である。営業を再開した店も来客数が1けたの店がほとんどで、アルバイトの出勤止めを依然として依頼している。
▲	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・今までは新型コロナウイルスの感染が大きく影響し、前年に対して売上の伸長が105%近くあったが、今月からは新型コロナウイルスのプラス分がなくなり、前年を割る形で推移した。
▲	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・緊急事態宣言により新型コロナウイルスの感染者数が少し落ち着いたため、外食が増え内食需要は若干下がったように、来客数、単価共に3か月前より下がっている。ただし、その後の緊急事態宣言の解除後に感染者数の増加もあり、販売動向は不透明である。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍でも比較的堅調な家電業界だったが、巣籠り・テレワーク需要も一巡し大物が売れなくなっている。
▲	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
▲	その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・今月は新入学の準備などもあり売上は良いものの、前年は新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が高まって売上も伸びたため、今年はそのまでの需要が見込めず、前年より1割以上売上を落とす日が多かった。
▲	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・まだまだ続く新型コロナウイルスの先がまだ見えないということが、今の状況である。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で自粛の対象になっている業態では倒産により客が減り、販売量が減少している。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている。
▲	タクシー運転手	単価の動き	・当地のタクシー業界では、今月2社廃業し、当社も緊急事態宣言のため前月から今月15日までの1か月間は約2割の台数が休車した。夜の街での営業はとて厳しく、せめて店が24時頃までの営業になればもう少し売上は上がると思うが、まだまだ夜の売上は伸びない。
▲	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・引っ越しシーズンのため加入、解約共に例年増加する月であるが、加入は例年並みで、解約は例年の2割増しである。
▲	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きから、景気はやや悪くなっていると判断した。

	▲	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・通勤通学客の密回避のためか、3か月前と比較して減少している。
	▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・外出自粛の要請を受けて、客の来店間隔が段々と延びてきている。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響である。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、皆売上の落ち込みや借入れが長期化しているため、消費は相当沈んでいる。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・夕方以降の来客数の減少傾向に歯止めが掛からない。
	×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、当店の売上数・来客数は共に前年比50%割れが続いている。
	×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・決算最終月である3月は実に動きが悪かった。例年と比べても来客数が減っている。新規の来店客も少ない。
	×	乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・全体的に動きが良くない月であった。取引先や他社の様子からも、業界全般が良くなかったようである。例年3月は動く月であるが、今月は今一つであった。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・予約が入ってもすぐキャンセルになる。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言で、宿泊・宴会はほぼ売上がない。レストランも、夜は客がない。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンも一時停止のまま、新型コロナウイルス感染者数のリバウンドのニュースや県内での変異種確認で、春休みも余り予約が増えなかった。予約があってもマイカーで行ける範囲の旅行客ばかりであった。4人以上の会食が難しいので全く団体予約も入らず、海外旅行も帰国後の2週間は待機で、利益が上がらず小規模の旅行会社には大変厳しい状況である。国内の個人旅行だけでは、更に大変厳しい経営状態が続く。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンの一時停止が続いており、旅行の予約が全くない。早期のGo To Travelキャンペーン再開を期待したい。
	×	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り難しい。Go To Travelキャンペーンも一時停止の解除が延期であるし、インバウンドも来ない限りどんどん悪くなっていく。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・まだ安心はできない。新型コロナウイルスの感染がいつ落ち着くのか見当が付かない。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・リフォームでキッチンセットを交換しようとする客は増えたが、最終決定までに時間が掛かり、回転が悪くなっている。
企業動向関連	◎	*	*	*
(東海)	○	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除になり消費マインドも上昇してきているためか、商品の動きも活発化してきている。特に冷凍食品、冷凍和菓子関係の動きが良い。
	○	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・緊急事態宣言解除を受けて外出が増えることから、少し景気回復に向かっている。
	○	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍にもかかわらず、毎年同様の年度末らしい人の動きがあった。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの第3波が収束して、少しずつではあるが経済活動が再稼働し始めた。東京オリンピックの聖火リレーも世の中を明るくする話題となっている。新型コロナウイルスのワクチン接種が展開されることも安心を呼ぶ要因となり、希望を持ちつつある。
	○	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車関連部品等及び電化製品の工場などの勤務者からは、比較的生産量も多く忙しいという声が多い。
	○	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売買案件数が多くなっている。

○	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・3月に入り折込広告の受注が増えてきている。
○	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束しつつあり、注水量が増えつつある。
□	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・電材向け需要が引き続き好調である。
□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されたため街の人出は一変して景気が戻ったように見え、実際に飲食店などは、営業時間短縮の影響もあるものの予約の取れない店が出てきた。
□	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・受注量は安定している。例年3月末に掛けて予算消化と思われる短納期の注文が散見されるが、今年はそれが無い。
□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客への訪問がまだできないため、設備投資計画についても最終的な詰めを行うことができず、内示情報などの取得ができない。
□	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの関係で客先の業界はまだ難しく、各店も設備投資を渋っている。当分良くならないと判断する。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・通信業界では通信インフラ増強の要望が依然強く、当社でも光端末器の受注が好調で、年内の納入スケジュールはほぼ固まっている。
□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・本業の航空機製造業はどん底で全然動きがないが、現在応援で入っている自動車製造業の景気は、余り変わっていない。
□	輸送業（経営者）	それ以外	・半導体の供給量や新型コロナウイルスの感染拡大などの不確定要素が多く、物量の変動要因がつかめない。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷主全体として受注量は少しずつ増えてきていて、新型コロナウイルス発生以前の水準にかなり近づいている。新型コロナウイルスの影響による減少部分は、回復傾向にあるとみられる。ただし、業種によってはまだ沈んだままの荷主もある。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・企業の設備投資が減少するなかで個人消費の伸びではカバーしきれていない。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の12月は、新型コロナウイルスの影響で秋まで低迷していた荷物量が、年末に向かって徐々に回復しつつあった。10～12月で徐々に上向き、前年比では荷物量は減っているが9月までの動きに比べると増えていた。この3月も12月のような状況にあり、3か月前と比べると景気はほぼ変わらないという印象を持っている。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・国際航空貨物は、依然として多い。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・飲食業関連、旅行・宿泊の観光業関連を中心に新型コロナウイルスの影響が大きく、厳しい状況が続いている。一方、株高、円安により一部業種では業績の回復もみられる。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日が多い。新型コロナウイルスの影響により出費を控える傾向も継続しており、売上は前年同期を下回っている。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・当地では新型コロナウイルスの感染者数は下げ止まりとなっているが、目立った変化はみられず、広告の受注は相変わらず厳しい。
□	公認会計士	それ以外	・中堅中小企業の業績が厳しい。中堅中小企業の従業員のボーナスがカットされている。
□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・曜日や時間にもよるが、飲食店に客が戻ってきているように思う。ただ、営業時間の短縮要請が解除されても、従来のような夜遅くに来店することは少ないようにも思われる。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月も前月同様好調であった。ただし、これは当社だけであり、競合先は仕事が少なくてなかなか難しそうである。他の取引先でも厳しい状態が続いている様子である。全体としては、まだ半年は良くないと考える。

	▲	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が軒並み前年割れであった。飲食店からの受注減少が大きく響いている。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・最近では新型コロナウイルスの変異種も多く発生し、第4波拡大のため、全ての産業への影響が大きく景気はやや悪い。
	▲	鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に年度末で上昇する見込みであったが、前年並みまでが精一杯である。
	▲	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・引き合いが減少していると感じる。建設市況全般が停滞気味に見受けられ、受注に響き出してきた。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	それ以外	・期末の3月末で大幅な人員整理があり、所属部署の派遣社員のうち2人が契約終了となった。
	▲	輸送用機械器具製造業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・生産台数が当初の予定より減産になっている。半導体不足のため、完成車の台数を余り造れなくなったことが要因である。
	▲	建設業(営業担当)	取引先の様子	・3月は公共施設等の仕事も駆け込みで入っていたが、4月以降のめどは3月後半でも立っていないという話を取引先等からよく聞くため、景気はやや悪くなっていると判断した。
	▲	通信業(法人営業担当)	それ以外	・有効求人倍率が5か月ぶりに下がった。飲食業・宿泊業等の業績不振による影響が大きいと思うが、失業者数が220万人とかなりの数になっており、とても景気の良い状況ではない。
	▲	通信業(法人営業担当)	それ以外	・営業に出掛ける先々で、以前行ったことのある店の閉店看板を目にする。個人店もチェーン系のフランチャイズ店も関係なく、じわじわとランチの選択肢が減っている。
	▲	行政書士	受注量や販売量の動き	・前年の年度替わりよりトラックの動きが良くない。
	×	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (経営企画)	周辺企業の様子	・年度末の駆け込み予算消化もあるが、開発オーダーは増加している。派遣における残業時間も増加傾向にある。
	○	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・新年度に向けた人材採用の兆しが見えてきている。
	○	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数は前年比では80%と厳しい状況だが、年度末需要もあり3か月前との比較では徐々に回復している。
	○	アウトソーシング企業 (エリア担当)	雇用形態の様子	・2月の福島県沖の地震や半導体不足で工場の稼働が一時停止となり生産体制に影響が出たものの、3月は、2月の生産遅れ分の取戻しと目標達成のために雇用を維持する動きがある。
	○	新聞社「求人広告」 (営業担当)	それ以外	・緊急事態宣言が解除されて、人と物の動きが出てきた。
	○	職業安定所(次長)	求人数の動き	・有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると減少傾向が続いているものの、徐々に求人数に改善傾向がみられる。
	○	民間職業紹介機関 (支社長)	求人数の動き	・1～3月の求人数は、前年同期並みに回復してきている。
	○	民間職業紹介機関 (営業担当)	採用者数の動き	・期末という季節性は新型コロナウイルス禍においても同様の動きをたどっており、4月1日入社に向けて企業の採用意欲の高まりがみられた。
	□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・歓送迎会等も全くなく、ホテル業界は厳しい。
	□	人材派遣会社 (企画統括)	求人数の動き	・紹介、派遣共に求人数が前年比で減少し、伸び悩んでいる。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・主要取引先の動向は3か月前と比べてほぼ変化がなく、所属する拠点の業績も同程度に推移している。
	□	新聞社「求人広告」 (営業担当)	周辺企業の様子	・年度末に向かうなか、企業の業績・経営状況は引き続き厳しく、街中ではサービス業を中心に閉店も急増している。そのため、求人は特に影響を受けている。
□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求職者が2か月ぶりに増加したが、比較的落ち着いた動きとなっている。	

□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・例年この時期は新年度からの就職が決まり動きが鈍るため、求職者の減少は新型コロナウイルスの影響とはいええない。
□	職業安定所（次長）	求職者数の動き	・前月の求人・求職の動向は、新規求人、有効求人共に前々月と比べ増加している。新規求職者、有効求職者は共に前々月とほぼ変わらず、有効求人倍率は前月比で上昇している。
▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの終息がまだみえず、様々な手法で経費を削減する動きが見える。
×	—	—	—